

文化会館レストラン跡地の活用について

文化会館の地下1階レストラン跡地（以下「レストラン跡地」という）については、令和5年8月にレストラン事業者が撤退したことを受け、これまで次期事業者の選定可能性の検討や、区としての活用など、様々な視点から活用方法を検討してきたところである。

検討の結果及びレストラン跡地の活用の方向性について、以下の通り報告する。

1 これまでの経過

令和5年8月	レストラン事業者撤退
令和5年11月	サウンディング調査実施
令和6年4月	区民環境委員会報告「文化会館レストラン跡地におけるサウンディング型市場調査の結果及びプロポーザル実施の中止について」

<主な内容>

- 調査の結果、レストラン跡地は、飲食事業者が参入する上で、立地や環境に解消しきれない課題があり、安定かつ継続的な経営の確保が困難であるため、飲食事業者の選定を中止した。
- レストラン営業による行政財産の目的外使用に限定した活用方法を見直し、文化会館の施設としての整備も含め、区としての活用も検討する。

2 検討の背景

現在の文化会館は、利用者からは高い評価を得ているものの、主にホール事業の鑑賞や、活動の発表といった利用が中心となっており、特に子ども・若者の日常的な利用は少ない状況がある。文化拠点としてより開かれた施設とするためには、気軽に訪れることができる取組が必要である。

今後、文化芸術振興を進めていく上では、未来の担い手である子どもや若者を中心に気軽に文化芸術を楽しむ活動できるような、きっかけづくりや、環境を整備していく必要がある。

3 活用の方向性

レストラン跡地については、利用者間のコミュニティ形成を促しながら、子ども・若者を中心とした区民の新たな居場所としての役割を果たしていくとともに、文化芸術の次世代への継承及び未来に活躍する人材の育成を推進する新たな創造・発信拠点として、気軽に文化芸術活動ができる環境を整備する。

事業の実施にあたっては、文化会館の指定管理者であり、区の文化事業の一翼を担っている公益財団法人板橋区文化・国際交流財団と協力し進めていく。

4 今後の予定

令和8年4月～	事業企画・改装内容等調整・決定
～令和9年2月	文化会館地下1階改装工事
令和9年3月	オープン予定